

ほのほのだよ

～ 親子で楽しむ 絵本の世界 ～

やっと秋らしい風を感じるようになりました。読書の秋。子ども達とたくさんの絵本を読んでいきたいと思います。今月は、微笑ましい絵本とユニークな絵本を1冊ずつ紹介します。絵をみて楽しむ事もできる絵本です。

「ぼくはあるいた まっすぐまっすぐ」

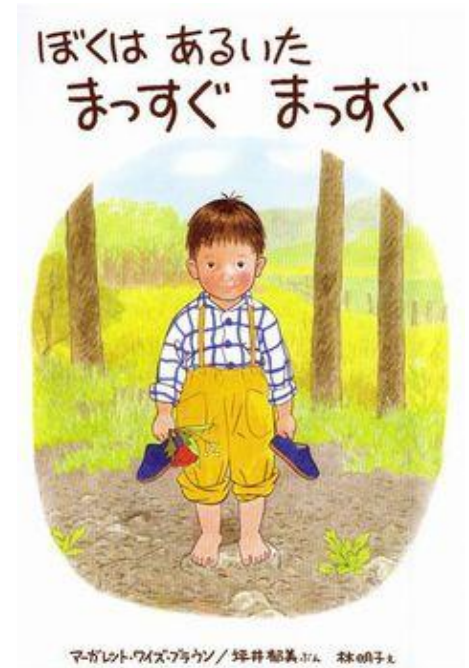
出版社：ペンギン社

作：マーガレット・ワイズ・ブラウン

絵：林 明子

おばあちゃんから電話が来て、「いまからおいで」とお呼ばれます。「え?」「ぼく、ひとりで?」「どうやって行くの?」「ずっとまっすぐ?」…。と、ドキドキする胸をおさえて出発します。

いろんなはじめてに出会う冒険が始まります。おばあちゃんのおうちはまっすぐ、まっすぐ。絵もとてもかわいい絵本です。



「でてくる でてくる」

出版社：ひかりのくに

作・絵：岩田 明子

子ども達の大好きな「公園」が舞台の絵本です。でも、大好きな公園が真夜中になると…でてくる? でてくる! と、砂場や滑り台から、おばけのような、知っている動物のような、不気味なものが出てきます。ページをめくりながら、ワクワクする子ども達の表情がかわいらしいです。

